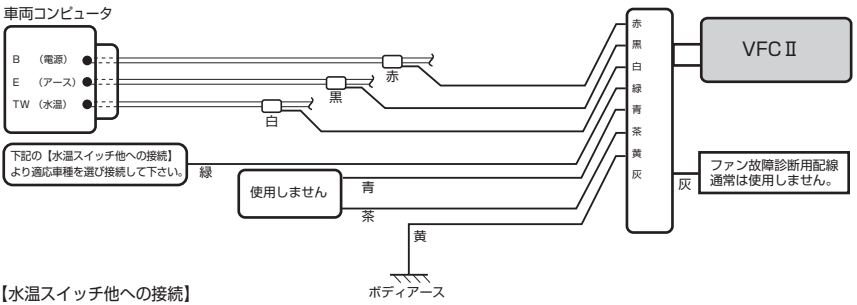
取付に際して（イグニッションON時は、絶対にカプラーの抜き差しをしないで下さい。）

《取付方法》

1. エンジンを停止させ、取付に必要な配線等が見えるように内装類を慎重に取外して下さい。
2. ECU端子図は、P11以降の車種別図面を確認して下さい。
3. ECU端子図が正しいことを確認する為、サーキットテスターにて各部電圧チェックを行います。
   B−E間電圧：12V〜14V　TW−E間電圧：0.2〜2V（暖気時）
4. 下記取付図を参考に、本体取付を行って下さい。
5. 取付が完了したら、「初期設定」の頁を参考に設定を行って下さい。

配線方法 3

NISSAN	BNR32 R32 BCNR33 R33 WGNC34（前期〜H10/7）　※HR31 ※A31 ※C33 ※注　この車種は専用アダプター(BDA−03 別売)が必要です。
TOYOTA	EP91(ターボ車)　JZX90(ターボ車)　MZ20　MA70　JZS147(ターボ車)
MAZDA	FC3S(後期・H1/5〜H2/10)
HONDA	NSX(〜H7/3)　PP1



【水温スイッチ他への接続】

TOYOTA　MZ20　MA70　EP91（ターボ車）

☆MZ20/MA70
サーモスタットカバー①付近に水温スイッチ（丸ソケット／1P青色）が付いています。スイッチより出ている配線へVFCの緑線を接続して下さい。

☆EP91（ターボ車）
ラジエーターのロアホースのエンジン側付け根②付近に水温スイッチ（楕円ソケット／1P）が付いています。スイッチから出ている配線へVFCの緑線を接続して下さい。

エンジンルーム内に左図のような水温スイッチがあります。付属のスプライスを使用して水温スイッチの線へVFCの緑線を接続して下さい。

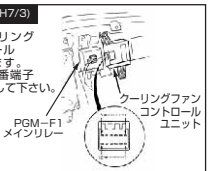
NISSAN　R32　BNR32　R33　BCNR33　WGNC34

車両ハーネスへ　この配線に接続します

※ラジエーターロアタンク部に水温スイッチがあります。そこから出ている線をたどっていくとファンシュラウド右側に（運転席から見て）緑色のカプラーが付いています。図を参考にしてVFCの緑線を指定の線へ接続して下さい。（接続する線を間違えるとファンは回りません）

HONDA　NSX(〜H7/3)

※ECU近くにクーリングファンコントロールユニットがあります。VFCの緑線を12番端子（緑/黒）線へ接続して下さい。

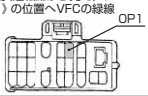


HONDA　PP1

※ラジエター下部にある2Pカプラーの青線にVFCの緑線を接続して下さい。

TOYOTA　JZX90　JZS147

※エンジンルーム内の黒いボックス『DIAGUNOSIS』（約50×30）がエンジン左側（運転席から見て）にあります。フタを開け（OP1）の位置へVFCの緑線を差し込んで下さい。



MAZDA　FC3S

※右ストラット前方にチェックコネクター（緑色／1種）が付いています。その線へVFCの緑線をスプライスにより接続して下さい。

【本体とハーネスの接続及び、固定】

- 配線が完了したら、接続、接触確認を行い、本体後方にカプラーを差し込んで下さい。
- P1・P2を参考に初期設定を行い、作動チェックを行って下さい。
- 本体・配線は、運転動作の妨げとならない様に両面テープ・束線バンド等にてしっかり固定して下さい。
  ※車内は異常に高温となる可能性があります。直射日光の当たる箇所に配置すると、思わぬトラブルを引き起こす危険性があります。
- 固定が完了したら、再びエンジンをかけて本体の作動チェックを行って下さい。
- 取付後、作動しない場合は、「トラブルシューティング」の頁をご参照下さい。